

平成27年1月13日

各位

大同生命保険株式会社  
代表取締役社長 喜田 哲弘

## 日本障がい者スポーツ協会とオフィシャルパートナー契約を締結

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 喜田 哲弘）は、2015年1月1日付で公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（略称JPSPA：Japanese Para-Sports Association）とオフィシャルパートナー契約を締結しました。

当社は、企業市民として地域・社会の健全な発展に貢献するため、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。その活動の一環として、創業90周年の1992年から全国知的障害者スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会への特別協賛（※1）を行っていますが、協賛に加え、これまでに9000人を超える役職員が大会にボランティアとして参加するなど、全社を挙げて障がい者スポーツの支援に取り組んでまいりました。

上記に加え、今後はJPSPAのオフィシャルパートナーとして、「国際大会への出場をめざす日本選手の育成・強化」や「地域における障がい者スポーツの普及・振興」など、JPSPAが行う活動（※2）を積極的にサポートすることを通じて、障がい者スポーツのより一層の普及・発展に貢献してまいります。

以上

(※1) 全国障害者スポーツ大会への特別協賛について

- ・全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした国内最大の障がい者スポーツの祭典であり、文部科学省、日本障がい者スポーツ協会、開催都道府県などが主催しています。
- ・2015年は、和歌山県で10月24日(土)～26日(月)の3日間、「躍動と歓喜、そして絆」を大会スローガンに、第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」が開催されます。
- ・大同生命では、創業90周年を機に、社会貢献活動の一環として全国障害者スポーツ大会の前身である全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)の第1回東京大会(1992年)から継続して本大会への特別協賛を行っています。
- ・また同時に、大同生命やグループ会社などの役職員がボランティアとして大会に参加して、メイン会場に設置した「大同生命ブース」で全国から集まった選手や応援のみなさんとゲームやイベントで交流できるふれあいの場を提供しています。



第14回全国障害者スポーツ大会  
(長崎がんばらんば大会)の大同生命ブース

(※2) J P S A (日本障がい者スポーツ協会) の活動について

- ・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 (Japanese Para-Sports Association) は、1964年に開催されたパラリンピック東京大会を契機に、わが国の身体障がい者スポーツの普及・振興を図る統括組織として、1965年に厚生省(現 厚生労働省)の認可を受けて設立された団体です。
- ・J P S Aでは、①全国障害者スポーツ大会やジャパンパラ競技大会をはじめとする全国規模の障がい者のスポーツ大会の開催・奨励、②国内の障がい者スポーツ団体及び関連団体との連絡・調整、③合宿等の実施による選手強化、④障がい者スポーツ指導者の養成など、障がい者スポーツの普及・振興や競技力向上をはかる活動を行っています。